

企画部会の取組

ウッド・チェンジアクション推進会議の活動方針

ウッド・チェンジの目的

- ・ 森林資源を循環利用し、森林の多面的機能を最大限に発揮させる。
- ・ 「木の文化都市」として人や投資を呼び込み、活力あるまちをつくる。



推進会議の目的

- ・ 民間建築物等における木材利用の機運醸成
- ・ 木材を利用しやすい環境づくり



目指す木材利用

- ・ 利用量の確保（市内産、府内産、その他国産の優先順位で）
- ・ 都市の総合的な価値の向上につながる質の高い使い方
- ・ 市民・企業等へ木の魅力や木材利用の必要性を伝える効果的な使い方

用途別のターゲット

		住宅	非住宅
建築物	木造	・ 市内の設計事務所や工務店等が建築する戸建て住宅 市内産材の特性を考慮し、地域の設計事務所、工務店、プレカット製材所等において市内産材KTS材を活用するためのサプライチェーンの強化、啓発活動を促進	・ 中規模建築物の木造化 耐火や構造への対応が比較的容易で、S造が採用されていた建築物の木造化促進 ・ 木材利用促進のP R効果の高いプロジェクト 木材利用のP R効果を見込むことができる建築プロジェクトの木造化
	木質化	・ 市内の設計事務所や工務店等が建築する住宅 事業者が施主へ提案するためのツールや見本などの整備	・ 店舗やオフィスなど 客単価の増加、生産性の向上などの木質化によるメリットの周知
その他 (機運の醸成)		・ インバウンド客に対する木の文化発信 二条城に来場するインバウンド来日客をターゲットとして、木製品の販売や北山丸太の文化を発信 ・ 一般市民、事業者等による家具、小物等での利用 木材利用の意義や目的の周知を図るため、一般向けのイベント等での木材利用の普及啓発	

活動体制と活動内容

全体会議

ウッド・チェンジの推進に有益な情報の収集・共有、会員への周知等による発信、**個別課題の成果の周知※**

木材サプライチェーンの強化

木材の魅力発信

木材利用のメリット検討

企画部会 1

1 目的

利用者が求める市内産木材の供給力向上に向け、住宅用木材サプライチェーンを強化する。

2 取組内容

市内産木材を多く利用した住宅設計の仕様書を使った普及啓発と、中規模建築物の木造化へのチャレンジと技術者への技術支援

3 メンバー

- ・設計（京都府建築士事務所協会、京都府建築士会）
- ・建築（京都府建築工業協同組合）
- ・木材供給（京都府木材組合連合会、京都木材協同組合、京都市域産材供給協会）
- ・京都市

企画部会 2

1 目的

家庭や企業のオフィス等、身近に木を取り入れてもらえるよう、木の魅力や利用方法を広範かつ多彩に発信する。

2 取組内容

産学公連携による、木製パーテーション制作を手掛ける。経済センターのKOINに設置予定。

3 メンバー

- ・京都銀行
- ・京都市住宅供給公社（京安心すまいセンター）
- ・京都木材協同組合
- ・京都市

企画部会 3

1 目的

企業や個人が木材利用に取り組む動機付けとなる仕組みを構築する。

2 取組内容

森林Jクレジットの創出について検討し、従来の利用価値に加え、新たな価値の付与を検討する。

3 メンバー

- ・(株)三菱UFJ銀行、三菱UFJリサーチ & コンサルティング(株)
- ・全日本不動産協会京都府本部
- ・京都府宅地建物取引業協会
- ・京都木材協同組合
- ・京都市

※企画部会は個別課題の企画・検討を実施し、成果の周知や実現は全員で取り組む。